

令和4年度「びわ湖の日」ポスターデザイン決定！

成安造形大学の大学生が年間の授業の中で琵琶湖との関わりを学んだ経験を基に、「びわ湖の日」をテーマとして提案されたポスター16点から、大学（学生・教員）と県職員の投票により採用作品を決定しましたので、お知らせします。

背景

県では毎年「びわ湖の日」（7月1日）を中心として、県民の環境保全についての理解と認識を深め、環境保全活動への参加意欲を高めることとしています。

「びわ湖の日」をより多くの方に知っていただき、琵琶湖と関わっていただくため、平成22年(2010年)3月に包括的連携協定を締結した成安造形大学の協力により、平成25年度(2013年度)以降、「びわ湖の日」ポスターデザインを制作しています。

内容

<採用ポスターについて>

- デザイン制作者：成安造形大学 芸術学部芸術学科 地域実践領域／クリエイティブ・スタディーズコース 2年 佐々木（ささき）良緒（らお）さん
- 作品コンセプト：別添資料1参照

今後の予定

- 掲出期間（予定）：令和4年6月上旬～8月中旬
- 掲出場所：県内の学校（小・中・高・大）、図書館、コンビニエンスストア、商業施設等
- 現在募集している「びわ湖の日」協力団体の皆様にもポスターを掲出いただく予定です。
「びわ湖の日」協力団体・関連企画・イベント募集の詳細については、以下のURLまたは二次元コードより、3月10日付け県政eしんぶんをご覧ください。

URL：<https://www.pref.shiga.lg.jp/kensei/koho/e-shinbun/bosyuu/323808.html>



令和4年度「びわ湖の日」ポスターデザイン

デザイン制作者氏名:佐々木良緒

成安造形大学地域実践領域 / クリエイティブ・スタディーズコース 2年

作品コンセプト・制作にあたって特に力を入れたこと

このポスターは、「森・川・里・湖・海」の繋がりに加えて、「森・川・里・湖・海」に関わる人々も**びわ湖という存在で繋がっている**という事を伝えたいと思い制作しました。

このポスターには、林業従事者の方、農家の方、ピワイチの参加者の方、SUP（スタンドアップパドルボード）で遊ぶ方、漁師の方・・・というように、レジャーから仕事まで様々な形でびわ湖に関わる人々が描かれています。「森・川・里・湖」を一つのイラストで表現し、それぞれに関わる人々を描く事で「森・川・里・湖」の**一体感が生まれるように表現**しました。そして、それだけで完結させるのではなく、びわ湖がその先の「海」に流れていくように表現する事で「森・川・里・湖・海」の繋がりを表しています。

私はアルバイト先で農業を勉強しています。田植えや普段の農作業をする中で、びわ湖と農業のつながりを体で感じました。そのため今回のポスターでは、林業、農業、漁業というように**職業として普段からびわ湖に関わっている方々も表現したい**と考えました。

びわ湖の日やびわ活期間に、アクティビティとしてびわ湖を楽しむだけでなく、普段からびわ湖と関わって働いている方々にも思いを馳せ、生活に根ざした「森・川・里・湖・海」の繋がりを感じてもらえたら嬉しいです。

また、手前の人物は、これからびわ活をやってみようとする人を表しています。キャッチコピーの「わたしのびわ活」にもあるように、このポスターを見た人に、それぞれの人なりの「びわ活」を**実践していただけたら嬉しい**です。

